





A Simulator for Wide Spreading Materials Handling by Using AI



藤本 英男



柳原 紀彦



室 善一郎

要旨

AI 技術を適用し、シミュレーション業務を効率化させた汎用物流シミュレータを開発した。システムの構成は、ベースとして導入したエキスパートシステム構築支援ツールおよびシミュレーションツールと、このベース上で新たに開発した汎用シミュレータ、これらの稼働環境としてのワークステーションからなる。本システムの特徴は、オブジェクト指向の考えを取り入れた部品化再利用の実現と、ルール形式による条件や判断の記述を可能とした点、および対話型モデリング環境を整備した点にある。これにより以前は数週間

Hideo Fujimoto

システム部システム課

Norihiko Yanagihara

生産製造部 企画課

Zen-ichiro Muro

生産製造部 企画課

かかっていた解析が数日でできるようになった。

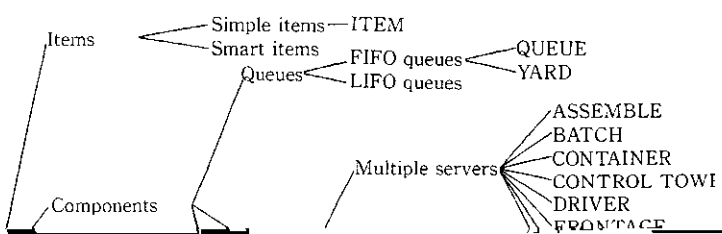
Synopsis:

Applying AI technology, Kawasaki Steel has developed a simulator

1. Defining problems

(1) 搬送設備の能力検討

「物流シミュレーション」の「物流」を「物流」に置き換えて、STARKIT (sim-



Crane-A

Crane-B

ソッドを起動し処理することとした。メッセージは、受信先の

